

平成 2 8 年度

道路関係補正予算（第 2 次）配分概要

目 次

I . 平成 2 8 年度道路関係補正予算（第 2 次）配分方針 . . .	1
II . 平成 2 8 年度道路関係補正予算（第 2 次）配分総括表 . .	2
III . 事業別概要	4
IV . 都道府県別等配分額	6
V . 配分箇所 の 具体事例	1 0

平成 2 8 年 1 0 月
国土交通省道路局
国土交通省都市局

I. 平成28年度道路関係補正予算（第2次）配分方針

1. 一般公共事業

「未来への投資を実現する経済対策」（平成28年8月2日閣議決定）に基づき、「21世紀型のインフラ整備」、「地方の支援」、「熊本地震や東日本大震災からの復興や安全・安心、防災対応の強化」の分野を重点として、所要の一般公共事業費等予算が計上されたところである。

配分に当たっては、追加の趣旨を十分踏まえ、以下の事業について、地域の実情や地方公共団体の要望等を勘案しつつ、重点的かつ効率的な配分を行うこととする。

(1) 21世紀型のインフラ整備

○大都市圏環状道路等の物流ネットワークの強化、渋滞対策

(2) 地方の支援

○無電柱化の推進、交通安全対策

(3) 熊本地震や東日本大震災からの復興や安全・安心、防災対応の強化

○熊本地震 復興関係道路の整備

○東日本大震災 復興道路・復興支援道路の整備加速化

○道路の防災、老朽化対策の推進

○代替性確保ネットワーク(ミッシングリンク等)の整備

※この他に、社会資本整備総合交付金（国費1,573億円）、防災・安全交付金（国費2,554億円）があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。

※この他に、ETC2.0の利用者に対する高速道路料金の大口・多頻度割引等に関する経費（国費105億円）を計上している。

Ⅱ. 平成28年度道路関係補正予算（第2次）配分総括表

[総事業費]

区 分	「21世紀型のインフラ整備」			「地方の支援」		
	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
直 轄 事 業	112,184	1,060	113,244	3,906	14,751	18,657
補 助 事 業	23,821	0	23,821	0	0	0
合 計	136,005	1,060	137,065	3,906	14,751	18,657

(注) 事業費ベース

※この他に、調査費がある。

※この他に、社会資本整備総合交付金（国費1,573億円）、防災・安全交付金（国費2,554億円）があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。

※この他に、東日本大震災からの復旧・復興対策事業（国費589億円）がある。

(単位：百万円)

「熊本地震や東日本大震災からの復興や 安全・安心、防災対応の強化」			合 計		
本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
42,569	39,115	81,684	158,659	54,926	213,585
7,490	0	7,490	31,311	0	31,311
50,059	39,115	89,174	189,970	54,926	244,896

Ⅲ. 事業別概要

(1) 21世紀型のインフラ整備

○大都市圏環状道路等の物流ネットワークの強化、渋滞対策

137,065百万円

生産性の高い物流ネットワークを構築するため、大都市圏環状道路等の整備を推進するとともに、渋滞対策を実施。

(2) 地方の支援

○無電柱化の推進、交通安全対策

18,657百万円

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から無電柱化を推進。また、道路利用者の安全・安心の確保を図るため、歩道整備や交差点改良等により効果的な交通事故対策等を推進。

(3) 熊本地震や東日本大震災からの復興や安全・安心、防災対応の強化

○熊本地震 復興関係道路の整備

2,700百万円

被災地の一日も早い復興を図るため、リダンダンシーの強化及び観光地域へのアクセス強化に資する道路ネットワークの整備を推進。

○東日本大震災 復興道路・復興支援道路の整備加速化

東日本大震災復興特別会計 58,921百万円

被災地の復興まちづくりを支援するため、復興道路・復興支援道路について、復興のリーディングプロジェクトとして整備を加速化。

○道路の防災、老朽化対策の推進

39,634百万円

災害発生時における被害を軽減し、円滑かつ迅速な応急活動等を支援するため、道路の耐震対策や防災対策、橋梁の損傷箇所の修繕を推進。

※この他に、高速道路株式会社において実施するロックアップ構造の跨道橋耐震対策がある。

○代替性確保ネットワーク(ミッシングリンク等)の整備

46,840百万円

災害時の安定的な道路交通を支えるため、自然災害により通行止めが発生するリスクがある地域において、代替性の確保のための道路ネットワークの整備を推進。

(注) 事業費ベース

IV. 都道府県別等配分額

[直轄事業]

区 分	「21世紀型のインフラ整備」			「地方の支援」		
	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
北海道開発局	2,970	0	2,970	312	2,530	2,842
東北地方整備局	9,230	280	9,510	950	1,428	2,378
関東地方整備局	16,494	210	16,704	952	1,023	1,975
北陸地方整備局	8,243	70	8,313	0	2,010	2,010
中部地方整備局	17,555	100	17,655	920	1,771	2,691
近畿地方整備局	14,528	100	14,628	250	1,299	1,549
中国地方整備局	14,418	100	14,518	197	1,422	1,619
四国地方整備局	7,249	56	7,305	0	656	656
九州地方整備局	19,397	124	19,521	325	2,592	2,917
沖縄総合事務局	2,100	20	2,120	0	20	20
合 計	112,184	1,060	113,244	3,906	14,751	18,657

(注) 事業費ベース

※この他に、調査費がある。

※この他に、東日本大震災からの復旧・復興対策事業（国費589億円）がある。

(単位：百万円)

「熊本地震や東日本大震災からの復興や 安全・安心、防災対応の強化」			合 計		
本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
2,594	3,909	6,503	5,876	6,439	12,315
1,747	3,687	5,434	11,927	5,395	17,322
9,676	8,288	17,964	27,122	9,521	36,643
1,383	2,332	3,715	9,626	4,412	14,038
4,869	7,178	12,047	23,344	9,049	32,393
5,051	4,527	9,578	19,829	5,926	25,755
1,928	2,759	4,687	16,543	4,281	20,824
6,049	2,753	8,802	13,298	3,465	16,763
9,273	3,246	12,519	28,995	5,962	34,957
0	436	436	2,100	476	2,576
42,569	39,115	81,684	158,659	54,926	213,585

[補助事業]

区 分	「21世紀型のインフラ整備」			「地方の支援」		
	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
北海道	0	0	0	0	0	0
青森県	110	0	110	0	0	0
岩手県	0	0	0	0	0	0
宮城県	0	0	0	0	0	0
秋田県	0	0	0	0	0	0
山形県	0	0	0	0	0	0
福島県	0	0	0	0	0	0
茨城県	0	0	0	0	0	0
栃木県	903	0	903	0	0	0
群馬県	740	0	740	0	0	0
埼玉県	500	0	500	0	0	0
千葉県	30	0	30	0	0	0
東京都	0	0	0	0	0	0
神奈川県	10,000	0	10,000	0	0	0
山梨県	250	0	250	0	0	0
長野県	0	0	0	0	0	0
新潟県	500	0	500	0	0	0
富山県	40	0	40	0	0	0
石川県	1,987	0	1,987	0	0	0
岐阜県	0	0	0	0	0	0
静岡県	0	0	0	0	0	0
愛知県	17	0	17	0	0	0
三重県	500	0	500	0	0	0
福井県	202	0	202	0	0	0
滋賀県	0	0	0	0	0	0
京都府	0	0	0	0	0	0
大阪府	0	0	0	0	0	0
兵庫県	796	0	796	0	0	0
奈良県	0	0	0	0	0	0
和歌山県	0	0	0	0	0	0
鳥取県	640	0	640	0	0	0
島根県	0	0	0	0	0	0
岡山県	989	0	989	0	0	0
広島県	348	0	348	0	0	0
山口県	0	0	0	0	0	0
徳島県	20	0	20	0	0	0
香川県	110	0	110	0	0	0
愛媛県	0	0	0	0	0	0
高知県	0	0	0	0	0	0
福岡県	108	0	108	0	0	0
佐賀県	600	0	600	0	0	0
長崎県	1,500	0	1,500	0	0	0
熊本県	1,301	0	1,301	0	0	0
大分県	960	0	960	0	0	0
宮崎県	240	0	240	0	0	0
鹿児島県	430	0	430	0	0	0
沖縄県	0	0	0	0	0	0
合 計	23,821	0	23,821	0	0	0

(注) 事業費ベース

※この他に、社会資本整備総合交付金（国費1,573億円）、防災・安全交付金（国費2,554億円）があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。

(単位：百万円)

「熊本地震や東日本大震災からの復興や 安全・安心、防災対応の強化」			合 計		
本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
0	0	0	0	0	0
260	0	260	370	0	370
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
905	0	905	1,808	0	1,808
410	0	410	1,150	0	1,150
0	0	0	500	0	500
125	0	125	155	0	155
0	0	0	0	0	0
0	0	0	10,000	0	10,000
0	0	0	250	0	250
0	0	0	0	0	0
0	0	0	500	0	500
0	0	0	40	0	40
300	0	300	2,287	0	2,287
0	0	0	0	0	0
50	0	50	50	0	50
0	0	0	17	0	17
60	0	60	560	0	560
0	0	0	202	0	202
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
535	0	535	1,331	0	1,331
420	0	420	420	0	420
0	0	0	0	0	0
550	0	550	1,190	0	1,190
0	0	0	0	0	0
75	0	75	1,064	0	1,064
0	0	0	348	0	348
400	0	400	400	0	400
0	0	0	20	0	20
0	0	0	110	0	110
200	0	200	200	0	200
60	0	60	60	0	60
0	0	0	108	0	108
0	0	0	600	0	600
75	0	75	1,575	0	1,575
0	0	0	1,301	0	1,301
150	0	150	1,110	0	1,110
1,080	0	1,080	1,320	0	1,320
1,545	0	1,545	1,975	0	1,975
290	0	290	290	0	290
7,490	0	7,490	31,311	0	31,311

V. 配分箇所の具体事例

(1) 21世紀型のインフラ整備

都道府県名	箇所名	配分額 (百万円)	事業概要
(大都市圏環状道路等の物流ネットワークの強化、渋滞対策)			
岐阜県 (関市～養老町)	一般国道475号 東海環状自動車道 (関～養老)	4,534	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容：高規格幹線道路 ・事業延長：44.2km ・補正予算（追加額）投入効果 <p>生産性の高い物流ネットワークを構築するため、補正予算の充当により、東海環状自動車道（関～養老）間における改良工事、橋梁下部工工事を推進することで、養老JCT～養老IC間の平成29年度の開通及び関広見IC～高富IC、大野・神戸IC～大垣西IC間の平成31年度の開通を確実にし、大都市圏環状道路等の整備を推進。</p>
神奈川県 (横浜市)	(都)高速横浜環状北西線 高速横浜環状北西線	10,000	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容：地域高規格道路 ・事業延長：7.1km ・補正予算（追加額）投入効果 <p>生産性の高い物流ネットワークを構築するため、補正予算の充当により、横浜環状北西線におけるシールドトンネル工事、設備工事及び付帯工事、橋梁工事、換気所工事等を推進することで、従来の平成33年度から、平成32年の東京オリンピック・パラリンピック迄に開通を前倒しするなど、大都市圏環状道路等の整備を推進。</p>

(注) 事業費ベース

(2) 地方の支援

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
(無電柱化の推進、交通安全対策) 茨城県 (ひたちなか市)	一般国道6号 <small>いちげ</small> 市毛電線共同溝	(百万円) 50	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業内容：無電柱化 ・ 事業延長：2.4km ・ 補正予算（追加額）投入効果 <p>道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保等を図るため、補正予算の充当により、一般国道6号<small>いちげ</small>市毛電線共同溝の本体工事を実施することで、無電柱化を推進。</p>
石川県 (かほく市)	一般国道159号 <small>とおづか あきはま</small> 遠塚～秋浜交差点改良事業	102	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業内容：交差点改良 ・ 事業延長：1.8km ・ 補正予算（追加額）投入効果 <p>道路利用者の安全・安心の確保を図るため、補正予算の充当により、一般国道159号<small>とおづか あきはま</small>遠塚～秋浜地区の交差点改良を実施し、効果的な交通事故対策を推進。</p>

(3) 熊本地震や東日本大震災からの復興や安全・安心、防災対応の強化

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
<p>(熊本地震 復興関係道路の整備)</p> <p>熊本県 みふねまち やまとちよう (御船町～山都町)</p>	<p>九州横断自動車道 のべおか 延岡線 かしま 嘉島JCT～やべ 矢部</p>	<p>(百万円)</p> <p>1,800</p>	<p>・ 事業内容：高規格幹線道路 ・ 事業延長：23.0km ・ 補正予算（追加額）投入効果</p> <p>被災地の一日も早い復興を図るため、補正予算の充当により、九州横断自動車道延岡線ののべおか おいけたかやま きたなか 小池高山IC～北中島IC間における改良工事、トンネル工事等を推進することで、平成30年度の開通を確実にし、熊本市と延岡市のリダンダンシーの強化及び高千穂等の観光地へのアクセス強化に資する道路ネットワークの整備を推進。</p>
<p>(東日本大震災 復興道路、復興支援道路の整備加速化)</p> <p>岩手県 とおの かみごうちよう (遠野市上郷町～ とおの あやおりちよう 遠野市綾織町)</p>	<p>一般国道283号 東北横断自動車道 かまいし あきた 釜石秋田線 かまいし はなまき 釜石花巻道路 (とおの すみた とおの 遠野住田～遠野)</p>	<p>850</p>	<p>・ 事業内容：高規格幹線道路 ・ 事業延長：11.0km ・ 補正予算（追加額）投入効果</p> <p>被災地の復興まちづくりを支援するため、補正予算の充当により、復興支援道路である東北横断自動車道釜石秋田線の遠野住田～遠野間における橋梁上部工工事、改良工事を推進することで、復興のリーディングプロジェクトとして整備を加速化。</p>
<p>(道路の防災、老朽化対策の推進)</p> <p>高知県</p>	<p>一般国道55号 高知55号 防災・老朽化対策</p>	<p>925</p>	<p>・ 事業内容：橋梁耐震補強 ・ 補正予算（追加額）投入効果</p> <p>緊急輸送道路の機能を強化するため、補正予算の充当により、第一次緊急輸送道路に指定されている一般国道55号の高知県東洋町甲浦地区において、支承補強の耐震対策を実施することで、災害時における被害を軽減し、円滑かつ迅速な応急活動を支援。</p>

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
(百万円)			
(代替性確保ネットワーク (ミッシングリンク等) の整備)			
広島県 ~ 鳥取県 <small>しょうばら にちなんちょう</small> (庄原市 ~ 日南町)	一般国道183号 <small>かつかけとうげ</small> 鍵掛峠道路	400	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業内容：地域高規格道路 ・ 事業延長：12.0km ・ 補正予算 (追加額) 投入効果 <p>並行する国道183号の事前通行規制区間を回避するため、補正予算の充当により、<small>かつかけとうげ</small> 鍵掛峠道路における改良工事等を推進することで、豪雨等による災害時の安定的な道路交通を支える代替性確保ネットワークの整備を推進。</p>
佐賀県 <small>からつ いまり</small> (唐津市 ~ 伊万里市)	一般国道497号 西九州自動車道 <small>からつ いまり</small> 唐津伊万里道路	1,450	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業内容：高規格幹線道路 ・ 事業延長：18.1km ・ 補正予算 (追加額) 投入効果 <p>並行する国道202号の土砂災害危険区域を回避するため、補正予算の充当により、西九州自動車道の<small>みなみはたに</small> 南波多谷口IC ~ <small>いまりひがし</small> 伊万里東IC間における改良工事、舗装工事を推進することで、平成29年度の開通を確実にし、災害時の安定的な道路交通を支える代替性確保ネットワークの整備を推進。</p>

参考資料 配分箇所の具体事例

21世紀型のインフラ整備

大都市圏環状道路等の物流ネットワークの強化、渋滞対策

- ・ 一般国道475号 とうかい 東海環状自動車道せき (関ようろう～養老) … 1
- ・ 横浜環状北西線 … 2

地方の支援

無電柱化の推進、交通安全対策

- ・ 一般国道6号 いちげ 市毛電線共同溝 … 3
- ・ 一般国道159号 とおづか 遠塚あきはま～秋浜交差点改良事業 … 4

熊本地震や東日本大震災からの復興や安心・安全、防災対応の強化

熊本地震 復興関係道路の整備

- ・ 九州横断自動車道延岡線 のべおか 嘉島かしまJCT～矢部やべ … 5

東日本大震災 復興道路・復興支援道路の整備加速化

- ・ 一般国道283号 とうほく 東北横断自動車道かまいし 釜石あきた秋田線
釜石かまいし花巻はなまき道路とおの (遠野すみた住田とおの～遠野) … 6

道路の防災、老朽化対策の推進

- ・ 一般国道55号 防災・老朽化対策(橋梁耐震補強) … 7
- ・ (参考) ロッキング橋脚を有する跨道橋対策について … 8

代替性確保ネットワーク(ミッシングリンク等)の整備

- ・ 一般国道183号 かっかけとうげ 鍵掛峠道路 … 9
- ・ 一般国道497号 にしきゅうしゅう 西九州自動車道 からつ 唐津伊万里道路いまり … 10

【21世紀型のインフラ整備】大都市圏環状道路等の物流ネットワークの強化、渋滞対策 (一般国道475号 東海環状自動車道(関~養老))

直轄

- 生産性の高い物流ネットワークを構築するため、補正予算の充当により、東海環状自動車道（関～養老）間における改良工事、橋梁下部工工事を推進することで、養老JCT～養老IC間の平成29年度の開通及び関広見IC～高富IC、大野・神戸IC～大垣西IC間の平成31年度の開通を確実にし、大都市圏環状道路等の整備を推進。
- 交通渋滞の緩和等による迅速かつ円滑な物流を実現することで、民間の投資を喚起。

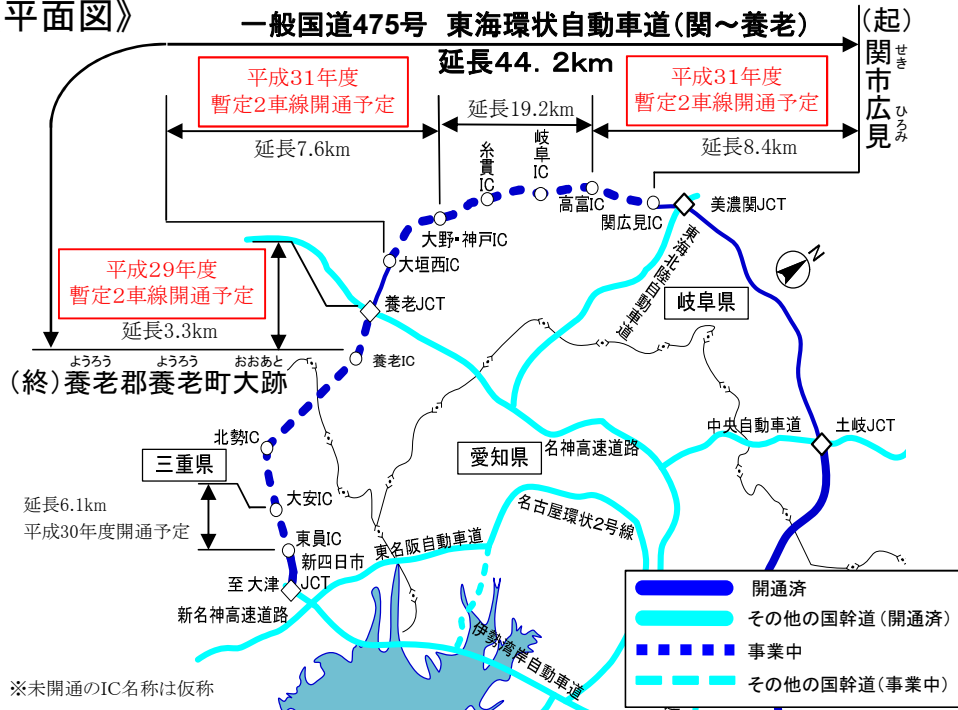
《位置図》



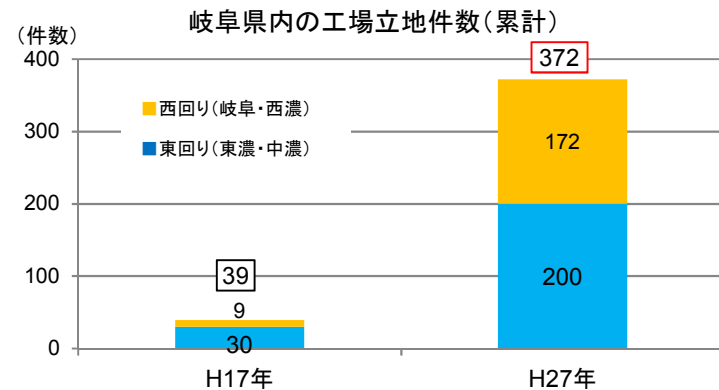
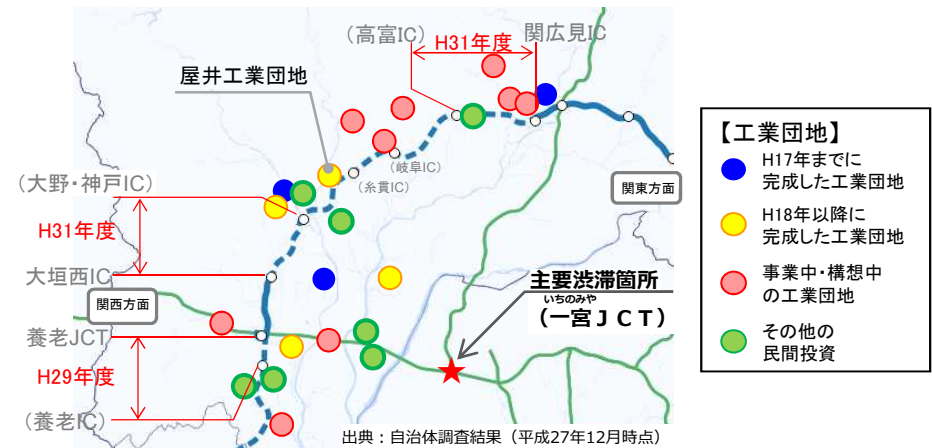
《諸元等》

事業区間：岐阜県関市広見～養老郡養老町
 延長：44.2km
 全体事業費：5,100億円
 H28補正：45.3億円(事業費)

《平面図》



《工業団地の立地状況》



○生産性の高い物流ネットワークを構築するため、補正予算の充当により、横浜環状北西線におけるシールドトンネル工事、設備工事及び付帯工事、橋梁工事、換気所工事等を推進することで、従来の平成33年度から、平成32年の東京オリンピック・パラリンピック迄に開通を前倒しするなど、大都市圏環状道路等の整備を推進。

○都市への交通の適切な分散導入による交通の円滑化及び物流の効率化を実現することで、民間の投資を喚起。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：よこはまし あおばく しもやもとちよう
 つづきかわむこうちよう
 都筑区川向町
 事業主体：横浜市、
 首都高速道路株式会社
 延長：7.1 km
 全体事業費：約2,200億円
 H28補正：100.0億円(事業費)

《効果》

○東名高速と横浜港を直結し、東名高速から横浜港への所要時間が**40分から20分に半減!**

《平面図》



○ 道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保等を図るため、補正予算の充当により、一般国道6号 ^{いちげ}市毛電線共同溝の本体工事を実施することで、無電柱化を推進。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：ひたちなか市市毛 ^{いちげ}

延長：2.4 km

全体事業費：7億円

H28補正：0.5億円（事業費）

○道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっている。



＜電柱の倒壊による道路閉塞の事例＞



＜歩行者の支障となる電柱の事例＞

《平面図》



《現地状況写真》

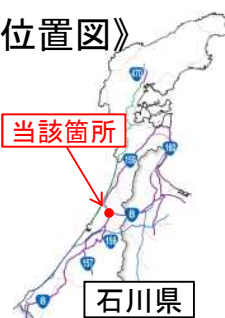


【地方の支援】無電柱化の推進、交通安全対策(国道159号 遠塚～秋浜交差点改良事業)

直轄

- 道路利用者の安全・安心の確保を図るため、補正予算の充当により、一般国道159号遠塚～秋浜地区の交差点改良を実施し、効果的な交通事故対策を推進。
- 当該箇所は、家屋及び商業施設が連担している地域に位置し、死傷事故率が全国平均の約9倍(当該箇所:710件/億台キロ、一般国道全国平均:81件/億台キロ)、死傷事故件数12件/4年と交通事故が多発しており、また、本箇所は、通学路指定がされているものの歩道幅員1.6m程度と狭く、事故対策等が急務。

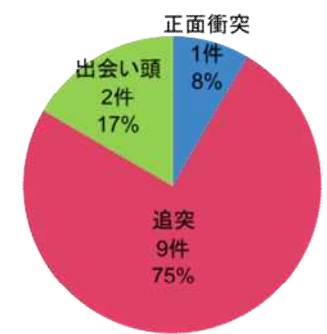
《位置図》



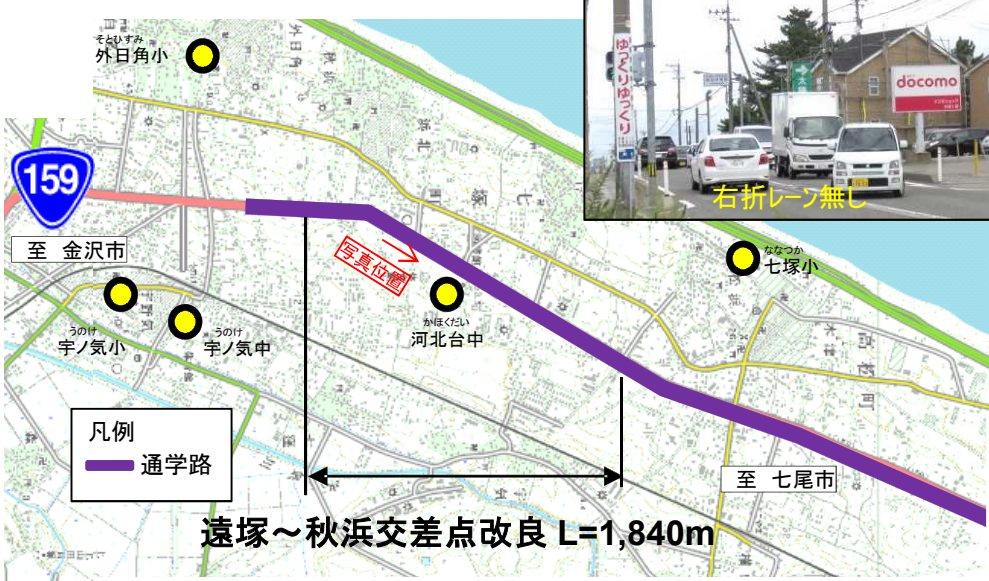
《諸元等》

事業区間: 石川県かほく市遠塚～秋浜
 長: 1.8km
 全体事業費: 16.8億円
 H28 補正: 1.02億円(事業費)

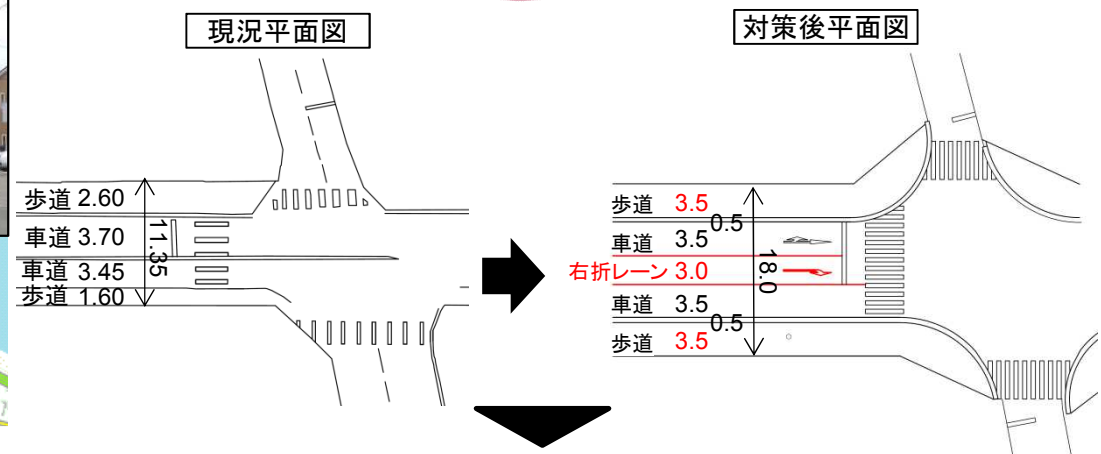
《遠塚～秋浜交差点における死傷事故件数の内訳》



《平面図》



《対策内容》



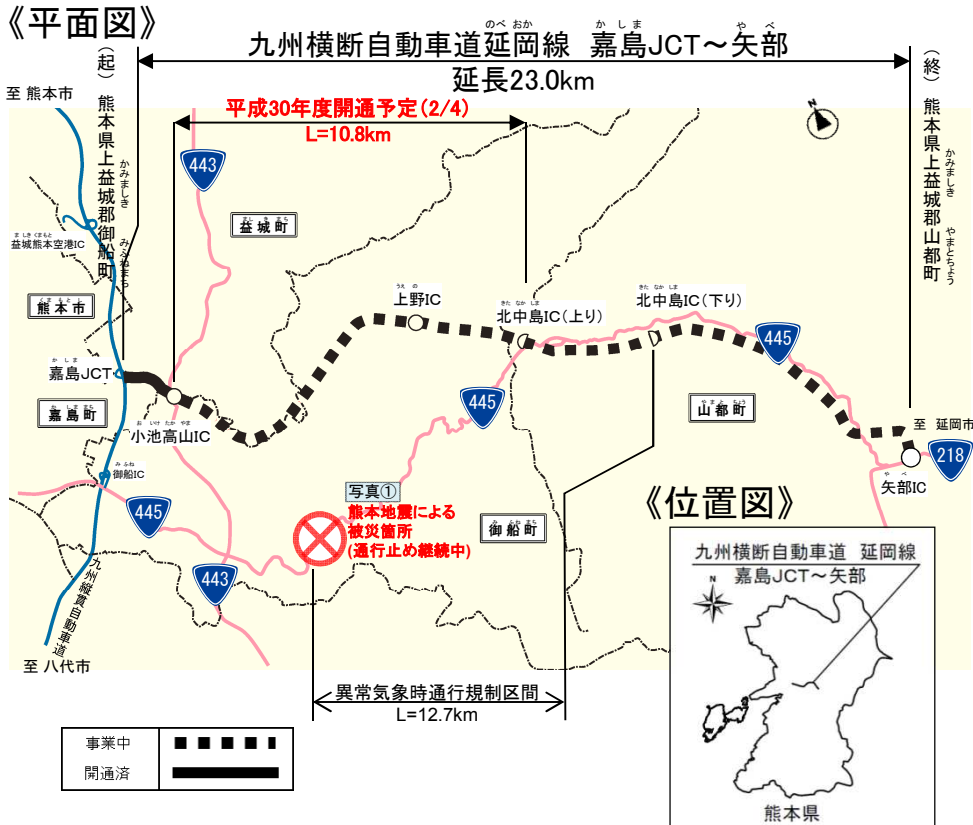
右折レーンがないため、右折待ち車両への追突の事故が多発しており、右折レーンの設置、併せて歩道の拡幅を行い、安全・安心な通行の確保を図る

【熊本地震や東日本大震災からの復興や安全・安心、防災対応の強化】 復興関係道路の整備（九州横断自動車道延岡線 嘉島JCT～矢部）

直轄

○被災地の一日も早い復興を図るため、補正予算の充当により、九州横断自動車道延岡線の小池高山IC～北中島IC間における改良工事、トンネル工事等を推進することで、平成30年度の開通を確実にし、熊本市と延岡市のリダンダンシーの強化及び高千穂等の観光地へのアクセス強化に資する道路ネットワークの整備を推進。

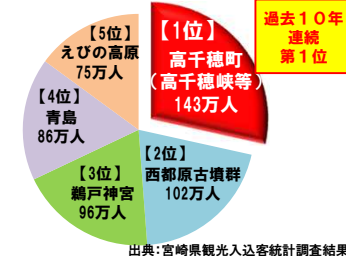
《諸元等》 事業区間：熊本県上益城郡御船町～上益城郡山都町
 延長：23.0km
 全体事業費：623億円
 H28補正：18.0億円(事業費)



《被災状況等》



<H26 宮崎県観光入込客数上位5位>



【熊本地震や東日本大震災からの復興や安全・安心、防災対応の強化】

直轄

復興道路・復興支援道路の整備加速化（一般国道283号 東北横断自動車道釜石秋田線 釜石花巻道路（遠野住田～遠野））

- 被災地の復興まちづくりを支援するため、補正予算の充当により、復興支援道路である東北横断自動車道釜石秋田線の遠野住田～遠野間における橋梁上部工工事、改良工事を推進することで、復興のリーディングプロジェクトとして整備を加速化。
- 釜石花巻道路（遠野住田～遠野）の整備により、輸送効率化及び釜石港の利用需要増が期待され、地震からの復興加速化を支援。

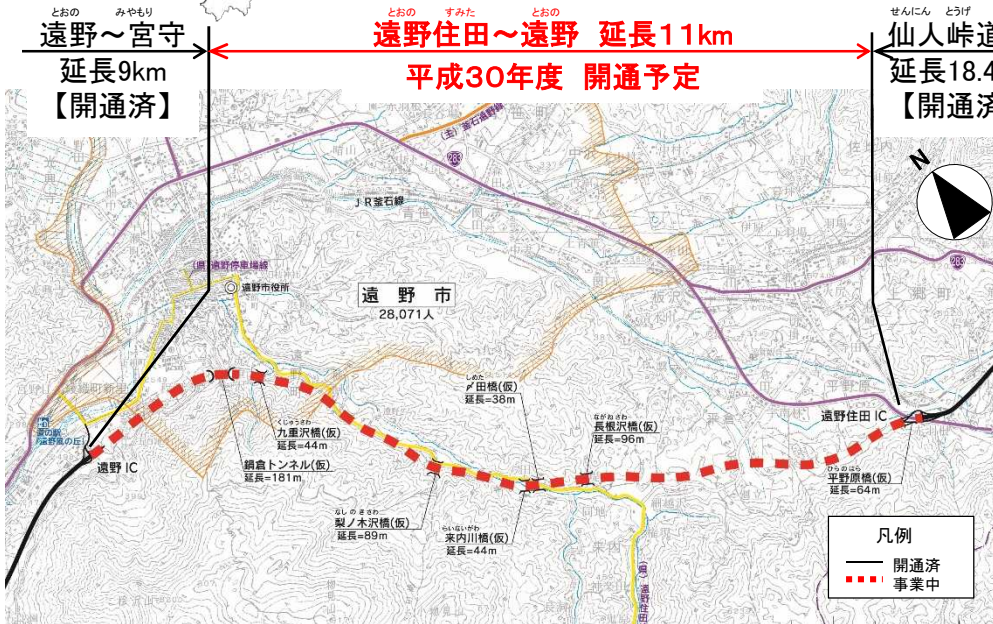
《位置図》

岩手県

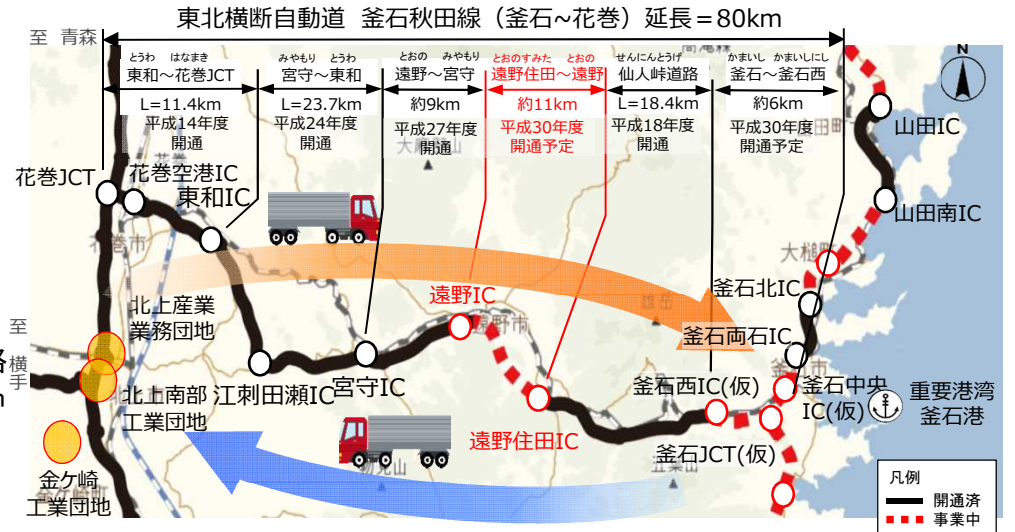
《諸元等》

事業区間：岩手県遠野市上郷町～遠野市綾織町
 延長：11.0km
 全体事業費：310億円
 H28補正：8.5億円（事業費）

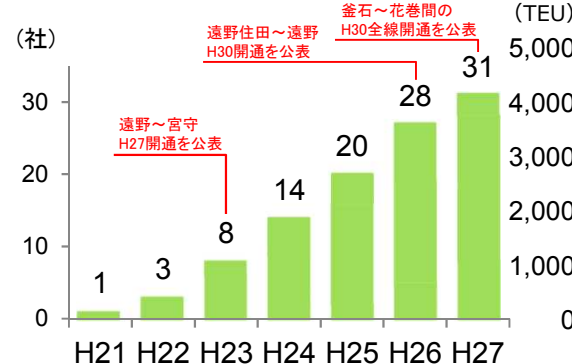
釜石花巻道路
 （遠野住田～遠野）



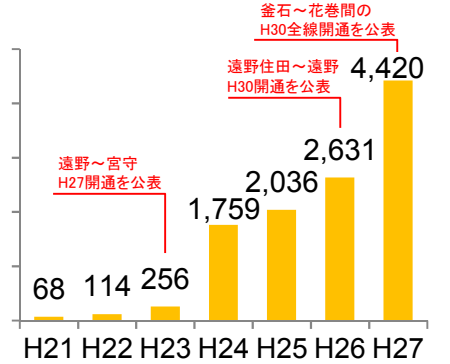
《道路整備に伴う釜石港の利用状況》



▼釜石港利用企業数の変化



▼釜石港のコンテナ取扱量の変化



- 緊急輸送道路の機能を強化するため、補正予算の充当により、第一次緊急輸送道路に指定されている一般国道55号の高知県東洋町甲浦地区とうようちょう かのうらにおいて、支承補強の耐震対策を実施することで、災害時における被害を軽減し、円滑かつ迅速な応急活動を支援。

H28補正予算(事業費):一般国道55号 防災・老朽化対策 9.3億円

【配分箇所の代表事例】

《位置図》



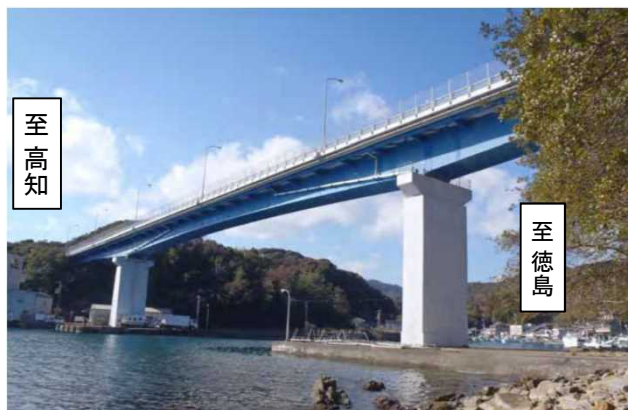
《諸元》

橋梁名:甲浦大橋かのうら
事業区間:高知県東洋町甲浦地区とうようちょう かのうら
架設:昭和48年
橋長:196m

《効果》

- 熊本地震において支承が損傷したものの、耐震補強(支承補強)を実施していたため、損傷は軽度であり、緊急輸送道路としての機能を速やかに回復。

《全景》



《対策イメージ》



支承の破損の状況

(参考) ロッキング橋脚を有する跨道橋対策について

- 本年4月に発生した熊本地震において、高速道路を跨ぐ道路(跨道橋)のうち、ロッキング橋脚を有する桥梁が落橋し、高速道路が寸断されるなど、大きな被害が発生。
- ロッキング橋脚は、上下端がヒンジ構造の特殊な構造となっているため、この構造を有する跨道橋について、建設の経緯及び高速道路の通行を確保する観点から、高速道路会社において、対策を実施。

熊本地震における被災状況(九州自動車道)



ふりよう
＜府領第一橋(熊本県道)の落橋＞

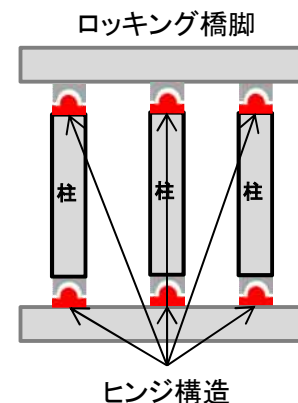


ひがしはる
＜東原橋(熊本ICランプ橋)の傾いた橋脚＞

(参考) ロッキング橋脚とは

○上下端をヒンジ構造とし、基礎を小さくすることが可能な構造

○単独で自立できる構造に補強を実施



(対策例)



対策前

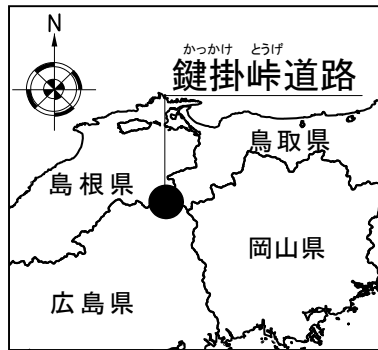


対策後

＜完全自立構造への補強例＞

○並行する国道183号の事前通行規制区間を回避するため、補正予算の充当により、^{かっかけ とうげ} 鍵掛峠道路における改良工事等を推進することで、豪雨等による災害時の安定的な道路交通を支える代替性確保ネットワークの整備を推進。

《位置図》



《平面図》



《国道183号の法面崩壊状況》



H17年1月: 全面通行止め106時間、片側交互通行350日

《諸元等》

事業区間: 広島県庄原市西城町高尾
 ~ 鳥取県日野郡日南町新屋
 延長: 12.0km
 全体事業費: 223億円
 H28補正: 4.0億円(事業費)

^{かっかけ とうげ} 鍵掛峠道路の整備により、
事前通行規制による多里地区、三坂地区の孤立が解消

○並行する国道202号の土砂災害危険区域を回避するため、補正予算の充当により、西九州自動車道の南波多谷口IC～伊万里東IC間における改良工事、舗装工事を推進することで、平成29年度の開通を確実にし、災害時の安定的な道路交通を支える代替性確保ネットワークの整備を推進。

《位置図》



《平面図》



《諸元等》 事業区間：佐賀県唐津市
～伊万里市南波多町
延長：18.1km
全体事業費：922億円
H28補正：14.5億円(事業費)

《法面崩壊写真》



＜並行現道(国道202号)の災害発生頻度及び被災状況＞

- 並行現道において、法面崩壊等により、H10以降に**7回の災害**が発生。
- H18.5.22に発生した岩石崩落では、**約21時間の片側通行止め**が発生。
- H18.9.16に発生した法面崩落では、**約7時間の片側通行止め**が発生。